

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
子育て支援	1 地域子育て支援ネットワークの確立（仮称）	<p>①子育て応援ボランティア登録制度をつくる。</p> <p>②お母さんたちが気軽に集える場所をつくる。</p>	<p>・児童館や支援センターの運営にボランティアとして参加し、子どもと共に親も育つことができる仕組みをつくる。</p> <p>・母さんたちが、子育て以外にも夫婦の問題、仕事、介護等の生活全般にわたる悩みを、ざっくばらんに話し、情報交換できる場所をつくる。</p>	<p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てボランティアへの参加</li> </ul> <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul> <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のお母さんたちは、そのサークルに積極的に参加する。</li> <li>・そのサークル運営を自分たちで主体的に決めていく。</li> </ul> <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所を確保する。</li> </ul>
	2 子育て家庭を支える環境づくりの推進（仮称）	<p>①新たな子育てサポート制度の創設を検討する。</p>	<p>・ファミリーサポート制度のリニューアルとして子育て家庭のニーズを把握し、新たな子育てサポート制度の創設を検討する。 例：サポートチケット制度など。</p>	<p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代のニーズを把握して必要なサポートを柔軟に制度化する。</li> </ul>
	3 子育て支援の核となる子育て支援センター機能の充実（仮称）	<p>①子育て支援情報のきめ細やかな提供を進める。</p> <p>②保育、特別保育に関する基本的な情報をもっときめ細やかに提供する。</p>	<p>・「子育て支援センターだより」の発行や子育て支援制度を周知する「子育て情報」（仮称）などを発行する。</p>	<p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てセンター等の情報を子どもの健診通知と一緒に送付していく</li> <li>・子育て支援センターで今何が行われているか、スーパーなどの目につく場所へ掲示する。</li> <li>・子どもの年齢別の発達段階表をもっとPR、活用する。</li> <li>・子育てに関する知識・知恵を伝える講演会や学習会を開催する。</li> </ul> <p>【市民】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常に情報に目を配り、制度を理解し、利用していく。</li> <li>・講演会や学習会に積極的に参加する。</li> </ul>

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
子育て支援		③子育て支援を、子育て支援センター、保健センター、教育課が連携して進める。	・子育て支援センターが、子育てに関するすべての相談の窓口となり、より専門性の高い窓口へつなげる司令塔の役割を担う。	【行政】 ・子育て支援センターは、「子育て」に関する総合相談窓口となる。
保育・幼児教育	4 質の高い幼児教育・保育の実践（仮称）	①保育園・幼稚園サポーター（仮称）制度をつくる。	・幼稚園や保育園の運営などソフト面について、保護者や地域の市民力、地域力で充実していく。	【行政】 ・幼稚園、保育所サポーター制度をつくる。 【市民・地域】 ・自分のできる範囲で、積極的にサポーター登録し、運営をサポートする。
	5 家庭の子育て力向上のための“親育て”の推進（仮称） 6 子育て情報の発信と共有化の推進（仮称）	②保育料の軽減制度をつくる。 } ※ <u>方策は3-1へ統合しました。</u>	・子育て世代の経済的支援として、独自の保育料軽減制度を設ける。	
小・中・高（不登校対策）	7 教育相談の充実とニーズに応じた支援体制の確立（仮称）	①教育現場に第三者の視点を入れる  ②発達障害など、何らかの支援を必要とする子どもたちへの就労支援を行う。	・学校＝閉鎖的イメージを払しょくするために、教育関係者以外の第三者による公開事業、学校給食の試食会などを開催する。  ・発達障害など、何らかの障害を抱える子どもたちが就職を迎える際、働く場所を確保することが難しくなっているため、行政、学校が関わって雇用等を確保する。	【行政】 ・第三者懇話会（仮称）を設立する。  【行政】 ・県と連携して卒業後の自立のために就労相談に応じ、就労活動を支援する。 ・職場実習先の拡大を進める。 【地域・事業者の役割】 ・障害者雇用を理解する。 ・障害者に雇用に向け、職域の拡大などに努める。

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
小・中・高(不登校対策)		③独自の奨学金制度をつくる。	・経済的な理由で高校や大学等の就学が困難な学生を支援するために、基金を造成し奨学金の貸し付けを行う。	【行政】 ・独自の奨学金制度の仕組みづくり、基金を造成する。 【地域・事業者】 ・基金造成へ協力する。
小・中・高(通学・学習環境)	8 地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり	①子どもを交通事故から守る地域ぐるみの市民運動を進める。	・長年要望していても実現できない通学路の危険箇所については、当事者、PTA、地域、地元企業、ドライバーが一体となった市民運動へつなげていく。	【行政】 ・全市民、関係者アンケートの定期的実施し、実態を把握する。
	9 確かな学びを支える教育環境の整備(仮称)	①学校教育アンケートを実施する。	・児童、保護者、教職員、地域の方々が相互に連携して教育環境の向上を図っていくため、何が必要なのかを把握するために全市民・関係者アンケートを実施する。	
	10 特色ある学校づくりの推進(仮称)			
	11 豊かな心と体を育む食育の推進(仮称)			
小・中・高(部活・体罰)	12 豊かな心と健やかな身体を育む教育の充実			
小・中・高(学力向上)	13 確かな学力を育む教育の推進(仮称)			
今の子ども の現状	14 生きる力を育む教育の推進(仮称)			

カテゴリー	提言テーマ	提言テーマを実現するための方策		
		(テーマを実現するための方策は何か)	(その方策とはどういう取り組みなのか)	(誰が取り組むのか)
子どもの居場所・青少年健全育成	15 子どもたちの安全で安心な居場所づくり 16 青少年の健全育成の推進	①市民ラウンジ、図書館研修室の開放による受け皿づくり	・中高生の居場所が無いため、駅やサンテラスホールなどでたむろしている実態があるため、新たにオープンした図書館に併設する研修室や市民ラウンジを開放し、勉強や友達と話ができる場所とする。	【行政】 ・図書館研修室は学習スペース、市民ラウンジは交流スペースに位置づけ、市民へ周知徹底する。 【市民】 ・図書館ボランティアへ積極的に登録し、子どもたちを見守る。 ・学習の場と交流の場を認識し、節度ある利用に心がける。
生涯学習(生涯学習・スポーツ)	17 人づくり、地域づくりにつながる生涯学習の推進(仮称) 18 スポーツ、芸術文化活動の推進(仮称)	①身近な公民館で学習機会を設ける。		
生涯学習(生涯学習・スポーツ)	19 学びを支える図書館機能の充実(仮称)			